

お話の記憶7

ゆうたくんのお父さんは一週間前からお仕事で東京へ行っています。しばらく、会えないので、夜8時には家に電話をしてくれることになっています。

雄太くんは夜8時に電話が鳴るのを楽しみにしています。今日はもう10分過ぎています。電話がなりました。お父さんから電話です。雄太くんは喜んで電話をとりました。

「お父さん。今日はいつもより少し電話をくれるのが遅かったね。」雄太くんがいうと「ごめん、ごめん。まだ仕事が終わらなくて、今日は会社からかけているんだ。でもお約束だからね。雄太と話をするとお父さんも元気がでて頑張れるから。」と言ってくれました。

雄太くんは、幼稚園のみんなで鬼ごっこをしたら最後まで鬼から逃げきれた話や、小さいお友達が転んで泣いていたので先生のところまで連れて行ってあげたお話をしました。お父さんは、「そうか、そうか。」と雄太くんの話を嬉しそうに聞きました。

お父さんは、仕事先の人からもらったお饅頭がとっても美味しかったから、3日後に帰る時にお土産で買って帰るねと嬉しい話をしてくれました。

「他にお土産を買って行くけど何か欲しいものがある？」と聞かれたので、雄太くんはサッカーボールをおねだりしました。

それから、お母さんに電話を代わりました。

妹のみきちゃんはぐっすり寝ていたなのでその日はお父さんとはお話はしませんでした。

電話を切るとお母さんは、雄太くんに、明日みきちゃんにもお土産を聞かなくちゃねといいました。

問題

- 問題1 雄太くんのお父さんが電話をしてくる時間の時計の針を書きましょう。
- 問題2 雄太くんが今日幼稚園でした遊びはなんでしたか？その絵を見つけてまるで囲みましょう。
- 問題3 お父さんが仕事先の人からもらった美味しかったものはなんでしたか？丸で囲みましょう。
- 問題4 雄太くんがお父さんに、おねだりをした物はなんでしたか？丸で囲みましょう。
- 問題5 雄太くんは何人家族だったでしょう？その数だけ丸を書きましょう。
- 問題6 雄太くんはみきちゃんにお父さんがお土産を買ってきてくれることを話します。雄太くんになってみきちゃんへ話すようにお話をしてみましょう。